

【第3回松戸市都市公園整備活用推進委員会】議事録

日時：平成30年10月22日（月） 午後2時～4時30分

場所：松戸市役所（新館5階）市民サロン

出席委員：8名（別紙名簿の通り）

欠席委員：3名

事務局：公園緑地課課長、公園緑地課課長補佐、
21世紀の森と広場管理事務所所長、所長補佐、街づくり課課長補佐
他6名

傍聴者：0名

議事：（司会：21世紀の森と広場管理事務所所長補佐）

1. 各部会からの報告
2. 中間答申案について
3. 委員会のスケジュール予定

配布資料

1. 議事次第
2. 出席状況
3. 第3回委員会資料

議事内容

1. 各部会からの報告について

- 各部長より、配布資料に基づき部会での検討状況を報告
 - ①パークマネジメント戦略検討部会
 - ・中長期的な管理運営の目標の検討にあたり、21世紀の森と広場のパークマネジメントプランを策定することを提案。
 - ②遊び空間検討部会
 - ・諮問事項(2)「21世紀の森と広場にふさわしい新たな遊具の設置」についての検討結果。

- ・将来の 21 世紀の森と広場の発展方向を展望した新たな遊び空間の創出についての提案。
- ・新たな遊び空間創出の導入部と位置付ける広場の一部を活用する整備方針の提案。

③サービス水準向上検討部会

- ・諮問事項(3)「21 世紀の森と広場における既に設置されているカフェテラスなどの便益施設の有効活用を目的とした事業者募集等」についての検討結果
- ・今後、募集要項の大幅な見直しも想定されることから、平成 31 年度事業者募集については管理許可期間を 3 年とする。
- ・利用者の利便性を向上させるため、「バーベキュー場」におけるインターネット予約を導入すること。
- ・「キャンプ場」を利用者にとって魅力ある施設とするため、利用における食材の持ち込みを可能とすること。
- ・新規参入を促すため、柔軟な運営が可能になるように応募条件を緩和すること。

④ゾーン別保全方針見直し部会

- ・これからの公園管理者には、市民をはじめとした公園に関係する人々の連携、調整を図り、めざす方向に導くマネジメントが必要であり、パークコーディネーターやパークレンジャーなどの専門的な知識を有するスタッフの配置を検討することも重要である。ゾーン別保全方針見直し部会としてはパークマネジメント戦略検討部会をはじめとして、他の部会と連携を密にしていく必要があると考えており、調整を図りながら進めていきたい。

○ 各委員による補足・質疑

①パークマネジメント戦略検討部会

- ・21 世紀の森と広場にははらっぱや森があるが、同じような環境の東京都武蔵野地域にある都市公園で、どんな管理を実践しているかの事例を紹介したい。例えば野川公園では、人、自然、まちが元気になる公園にしようとやっている。自然が豊かなのでそれを活用してまちも豊かにしていくというのは、今回の委員会の目標でもあると思う。武蔵野の都市公園では、民間やNPOが一緒になって様々なことを実施している。パークコーディネーターやパークレンジャーなどスタッフが、地元の方からの企画を受け止めて、一緒にまちづくりに取り組んでいる。イベントでも、武蔵国分寺公園で公園を基点としたまち歩きや、公園に地元のパン屋や地元の野菜を使ったレストランを出店してもらうなど、市民の企画をもとに実施している。
- また、公園内に施設を作るだけでなく、ツリーイングなどソフト的な整備で森を活用していくのもこれから重要になってくる。例えば、狭山公園では、ツリーイングやハンモックなどを公園内に取り入れている。里山などを活かす事例として

は、狭山丘陵でパークレンジャーによるガイドウォークや自然観察会など、色々なフェアやマルシェも行っている。緑だけではなかなか人が集まらないがそこにソフトを組み込むと集客や地域への波及効果があると思う。

- ・マネジメントプランの策定の提案について説明する。

資料のP4に21世紀の森と広場の抱える課題とあるが、市民からの意見・要望、公園利用者の意見・要望、松戸緑推進委員会答申、松戸市議会からの提言を受けて検討している。緑推進委員会の答申の中では、2008年から21世紀の森と広場のパークマネジメントをなんとかしたいと検討し、それを元にパークマネジメントが必要だと提言をしている。緑の基本計画の重要な改訂の中に公園の管理運営について基本的な事柄を基本計画に明記すべしとあり、パークマネジメントの具体的な仕組みや内容をまとめる必要がある。この委員会ではパークマネジメントやパークマネジメントプランについてまだ情報共有段階にないため、まず内容をご理解頂き、パークマネジメント戦略検討部会だけの問題ではなく委員会全体の問題として検討し、将来的に中長期的な具体的プランをつくっていききたい。次回の委員会で資料を用意して頂いてマネジメント、マネジメントプランについてご検討頂きたいがいかがか？

【全員】

異議なし。

②遊び空間検討部会

- ・4つの遊びが21世紀の森と広場のポテンシャルを活かし全て遊びつくす感じが良い。

P9の動線追加も今後の公園の活性化では重要だと思う。一方で保全と活用のバランスの整合性をとっていく必要がある。かなりの絶滅危惧種が森の中にあって、古い森だとキンラン、ギンランは少し木を切ると出てくる。だからやめようということではなく、逆にそのポテンシャルを活かして見せていく、PRを含めて保全、活用をしていく提案が必要。そのあたりの議論はどうだったか？

→中長期的な検討はまだアイデアのレベル。自然環境の影響は気をつけなければいけないところだが、それについての整合性は取れていない。重要なのは自然環境だと思っている。

- ・伐開したらランが出てくることも有り得る。遊びの範囲は広がるが、自然の大切さを知ってもらい、公園にこんなすごいものがあるといった機会になればいいと思う。

→つどいの広場から上に上がる部分はキンランなど出ている。

→林床が暗いままだとなくなっていくってしまう。手を入れないといけないと思うので、そのあたりと整合性が取れて良い形になると良い。

- ・動線について、提案の3ヶ所は欲しいところ。林床植物をうまく見せるには良いと思う。また、池の動線が気になる。中の島が水鳥の居場所になっているので気をつけなければいけない。調和を図りながら進める必要がある。

- ・ツリーイングの話は部会でも出た。今ある森を活かして、ソフトの部分で自然と親しむようなマネジメントも入れると良いと思う。物を作っただけでなく、遊び方を指導したり一緒に楽しんだりする人も入れてソフトの仕組みも入れたい。

- ・遊びと遊び場の関係で、ナイーブな自然の場所があるので工夫がいる。一方でアクティブとどう両立させるか。エリア区分は途中段階ということなので、ブラッシュアップされるということが良いか？

→その通り。

③サービス水準向上検討部会

- ・物販について、森のものを使った独自商品、学生のアイデアなどを取り入れたものを手作りして売るのはどうか。別のところで聞いた話では、スマホケースの販売はうまくいっているようだ。

物販の中に公園独自の商品を作ったり発信したりして資金源にできるようにしてもらいたい。

- ・商業施設だけでなく、パークセンターについては含まれないのか？カフェだけでなく、飲食できる場の近くにコミュニティスペースや、そこでコーディネーターが話を聞く場が必要。市民の声を聞いて、連携しながら場作りをしていく場が必要。セットで考えて連携していけると良い。そういった議論はあったのか？

→部会の中で、物販と関連する形ででている。

今はバドミントンなど公園で遊ぶものだけだが、おむつや生理用品など突発的に必要になるものの販売をした方がいいのではということと、カフェテラスをおしゃれなカフェにする過程でそれはどうなのか、と両立の問題が出た。パークセンターが隣にあるので、そういった販売と情報発信をそちらで出来るかなという話がでた。

- ・間につなぐところがあるといい。

→パークセンターでは森に関する展示や情報提供をしているが、動線として連携し

ていないので、そこを上手く活用、連携するとみんなにとっていい施設になる。

- ・2つある施設の前の広場などあのあたりで融合していく仕組み、外に出店を出すなどもできると思う。

国分寺の公園では売店がないので、パークセンターの目の前にケータリングに来てもらい、テーブルと椅子を置いてコミュニティスペースを作っている。そうすると、集まった人たちが話しをして、今度あんなことやりたいなど話が出て、それが公園の企画に繋がったりする。ケータリングについては、人が集まるところにいて営業するとマージンが得られるのでお勧め。自動販売機はお金になる。野外生活体験施設は充実していて驚いたが、バーベキューの予約は大変かと思う。予約はどうなっているのか？

→現在は事業者が電話と窓口で受け付けている。先着が不明瞭で苦情がある。ネットで予約ができるとクリアになる。

今ケータリングの話が出ましたが、部会で出たのは現在公園内でテイクアウトが出来ないので、出来るようにしたらどうかと議論もあったが、ゴミが懸念される。ケータリングのゴミ問題や対策はどうしているのか？

→ほとんどゴミは出ない。ゴミ箱を置かずに持ち帰りにしている。

多少のゴミは出ても収益とのバランスでどっちがメリットあるか。公園活性化という意味では多少仕方がない。

それに関連して、西東京の公園のトイレの事例で、バーベキューやスケボー広場、はらっぱがある4haの公園は、1日1回、土日は2回清掃を行っている。街区公園など場所によっては1日置きの場所もある。今までトイレの苦情はない。

【事務局】

中間答申はバーベキュー場、カフェテラス、里の茶屋が中心になるため、公園全体の取り組みについては事務局として議論を取上げて促さなかった。

- ・おみやげ、ケータリング、自動販売機などユーザーはまちと同じサービスを期待している。情報で繋がっているのはものすごく大事なツールになっていく。

④ゾーン別保全方針見直し部会

- ・ゾーニングの話と場所の話で制約が出てくる。ピンポイントで柔軟な対応が必要。どうやったらそれが出来るかを次のパークマネジメントの仕組みの中で検討したいがいかがか？

【全員】

異議なし。

2. 中間答申案について

【事務局】

配布資料P 30、31に基づき、諮問書と中間答申（案）の説明

諮問書では、諮問事項（2）（3）については平成30年10月をめどに中間答申を希望しており、部会での議論を踏まえて中間答申（案）を事務局で作成した。

・「(別紙のとおり)」の別紙は別で作成するのか？

→【事務局】資料掲載の部会からの報告書をつける。

・部会報告として出されたものをそのまま別紙として出したいということだが、委員の皆様にはそれについて議論していただきたい。

→（3）について、（2）と同様に「(別紙のとおり)」とあるが、報告書は委員会の皆様に説明するための資料であり、別紙はつけないと考えている。

・比較的是っきりしている（3）から進めたい。

①～④までの内容は部会からの報告で説明していただいたとおりとし、4つの項目を盛り込んだ中間答申書の文案作成を事務局に任せるということでよろしいか？

【全員】

異議なし。

・中間答申内容（2）の①②はこれだけでは良くわからない。

どこまで具体的なものを中間答申で出すのか？別紙で説明すればいいのかもしれないが、これだけ見るとよく分からない。

→【事務局】資料P 7の中長期的な取り組みについてが①と連動していて、P 10が②に対応している。

・答申に用いるのはP 7、P 10の2つあり、文言は報告書に書かれていることを整理するというでよろしいか？

→部会として決めたことは中長期的な取り組みを基本的に決めた。それを踏まえた短期的取り組みの案をP 12まで含めて部会としては考えた。特に短期的取り組みについて回答するのが今回の中間答申の中身なので、詳細はP 7以降でその中の要点を書くイメージ。

・短期的な取り組みとしては、A、Bという場所を決めて、そこで早急に創出する内容を決めるべき、考えるべき、という提案か？

→部会としては、A、Bの場所において、P 1 1にあるイメージの要件、要素のある空間整備をするという案をまとめた。

・4つのコンセプトのうち広場あそびが短期的整備になるということか？

→ここでの遊びに慣れてくることで、ツリークライミングなどソフトを含めた遊びの展開がされていくことを期待している。中間答申ではその導入部分のみ答えている。

・何に対する導入か？

→公園全体の遊び方のなかで、自然環境や農環境を利用したものを想定しているが、短期的取り組みではそちらは詳しく検討していない。短期的取り組みの検討が進めば、自然環境などの遊びにどんどん発展出来ればと思っている。短期的にはそのとっかかりとなる遊び場、利用空間の整備についてのみ回答している。

・中長期的取り組みの検討とP 8の広場遊びの検討から新しい整備の検討をすすめた結果が短期的課題解決の提案、といった流れでよろしいか？

→はい。広場遊びに限らず、自然遊びの要素なども入っている。初歩的な遊び、決まった遊び方しか出来ないものではないものをというコンセプトで入れている。

・中長期的取り組みと短期的な取り組みの繋がりはどうか？結論は短期的取り組みになると思うが、そこの一番のエッセンスはP 8の下の方あたりが中心だと思う。そこをまず先にやります、具体的にこんな形の遊びが出来る遊具をつくる、そういう空間にしていくなど、このあたりを中心に整理したら生きてくると思う。

【事務局】

10月末の中間答申は短期的取り組みについての答申となる。

・今回の答申としては、場所Aに水遊びや砂遊びといったきっかけづくりになるものを整備する、場所Bには移動が出来て森遊び的なものが出来るものを設置する、というのが答申ではないか。

・中間答申案をまとめるスケジュールは？

【事務局】

10月中の中間答申をお願いしているが、市長のスケジュールなどもあるので、11月1周目が2週目になると思う。事務局としては本日委員会から頂いた意見を反映した原案を作成し、みなさんにご確認いただく方法を確認したい。

- ・答申案の文案を検討して頂く方法を検討して欲しいということだが、事務局から出た案をメール等による持ち回りの検討でいかがか？委員長と副委員長で提出することになっているので、委員長と事務局で作成させて頂くとご一任頂きたい。

【全員】

異議なし。

3. 今後のスケジュールについて

【事務局】

年度内は部会を優先するか委員会を優先するか、中間答申後はある程度時間に余裕がある。年度内はまず部会ごとに中間答申意外の部分についての審議をして頂き、委員会は来年度早々に開催してはどうか？

- ・遊び空間検討部会としては、短期的取り組みについてはまとめ、長期的なものについては他の部会の意見を反映させて一緒に検討する段階だと思っている。
- ・冒頭であったパークマネジメントの検討について情報共有できていないので、それを含めて今後部会で検討して頂くにしても委員会として全体の議論を深めて、部会の提案を深めるためにも一度委員会を開催して、そこでパークマネジメント及びパークマネジメントプランについての質疑、検討を行ってから来年度の審議内容についてもここでお諮りするのが良いのでは？
- ・サービス向上検討部会も今後委員会での提案に向けて情報の共有や検討をした方が良い。具体的な作業的にやることがあれば部会を開催するのが良いので、委員会を開催するのが良いと思う。

【事務局】

委員会を年内または年度内に開催したいと思う。

以上

【第3回松戸市都市公園整備活用推進委員会】出欠状況

NO	氏名	役職等	選出区分	出欠
1	たしろ よりたか 田代 順孝	千葉大学 名誉教授	学識経験者 (都市計画)	出席
2	あかば かつこ 赤羽 克子	聖徳大学 心理・福祉学部 教授	学識経験者 (レクリエーション・社会福祉)	出席
3	みしま こうめい 三島 孔明	千葉大学 園芸学研究科 准教授	学識経験者 (環境教育学)	出席
4	こうだ まりこ 幸田 麻里子	流通経済大学 社会学部 准教授	学識経験者 (観光学)	出席
5	あびこ かおる 安孫子 薫	株式会社チャックスファミリー 代表取締役	学識経験者 (運営)	欠席
6	ひらまつ れいじ 平松 玲治	一般財団法人公園財団 上席主任研究員	学識経験者 (公園管理)	出席
7	さとう るみ 佐藤 留美	特定非営利活動法人NPO birth 事務局長	学識経験者 (市民協働・森林管理)	出席
8	とみなが ひさつぐ 富永 尚次	松戸商工会議所 理事	関係団体 (商工振興)	欠席
9	こが ひろゆき 古賀 弘幸	公益財団法人 松戸みどりと花の基金 理事長	関係団体 (緑化推進)	出席
10	えのもと たかよし 榎本 孝芳	特定非営利活動法人 クリエイティブまつど工房 理事長	関係団体 (市民協働)	出席
11	ふくだ まさひこ 福田 勝彦	松戸市街づくり部 部長	本市の職員	欠席